

760. THURET, G. (1875): *Ann. Sci. Nat. VI. Bot.*, **1**, 372-382. TIFFANY, L. H. & M. H. BRITTON. (1952): *The Algae of Illinois*. ix+407 pp. Chicago. UMEZAKI, I. (1958): *Mem. Coll. Agr., Kyoto Univ., Fish. Ser., Special Number*, 55-67. UMEZAKI, I. (1961): *Mem. Coll. Agr., Kyoto Univ.*, **83**, 1-149. VELASQUEZ, G. T. (1962): *Philippine Jour. Sci.*, **91** (3), 267-380, pls. 1-13. WETTSTEIN, R. R. (1924): *Handbuch der systematischen Botanik*. 3rd ed. vii+1017 pp. Leipzig, Vienna.

新 著 紹 介

故 クック博士の遺稿「シオミドロ科植物の研究」の出版

ドイツのヘルゴランド臨海研究所の P. KORNMANN 博士は、急逝により未発表のままとなっていた 故 PAUL KUCKUCK 博士の褐藻シオミドロの科の研究資料の纏めと整理に努力され、1953年から1963年にかけて、*Helgoländer wissenschaftliche Meeresuntersuchungen* 誌上に、8回に亘って、その成果を公けにしてきた。1964年、この8部からなる研究論文が一巻に纏められて出版されるに至った。

題 名: *Ectocarpaceen-Studien*. 239 pp., 95 figs.

発行所: Bibliothek, Biologische Anstalt Helgoland, 2 Humburg 50, Palmaille 9, Deutschland.

価 格: 18.70 ドイツマルク (送料共)。邦貨に換算して約1,683円。

この本は一般の本屋で扱っていないため、藻類等者の間でも余り知られていないようである。よって、日本の藻類学会の機関誌にこの本の紹介をしてほしいと KORNMANN 博士から手紙で依頼があった。 (千原光雄・国立科学博物館植物第二研究室)

学 会 録 事

日 本 藻 類 学 会 懇 親 会

「太平洋の藻類、その生物学と養殖の問題」と題されたシンポジウムが第11回太平洋学術会議の冒頭から2日間、続いて2日おいて1日、計3日間にわたって行なわれた。この会議に参加する海外からの藻類学者達と懇談する機会をもつため、日本藻類学会は、8月24日夕、東京後楽園涵徳亭において、懇親会を開催した。三々五々集まった内外海藻学者たちは、夕やみせまる庭園を散策し、歓談をかわしてのち会に移った。

一句ごとに爆笑の渦を起させる軽妙洒脱な広瀬弘幸教授の司会で始まり、まず“Kanpai”“Cheer”等の声の乱れとぶ中で乾杯。続いてカリフォルニア大学 PAPENFUSS 教授、本会会員藤原輝子博士、この日目出度く誕生日を迎えたインディアナ大学 STARR